リクライニング・コンサート

極上の空間で最高の感動を体験する60分コンサート

第98回　ブルーオーロラ　サクソフォン・カルテット

衝撃！最新最強ユニットがバッハの常識を打ち破る

平野公崇（ソプラノ）　田中拓也（アルト）

西本淳（テナー）　大石将紀（バリトン）

(c)ノザワヒロミチ(CAPSULEOFFICE)

2013年2月14日[木]

15:00 start(14:30 open)

19:30 start(19:00 open)

1回券　普通席 3,000円

リクライニング席　3,500円(1ドリンク付)

サックス新時代の革命児・平野公崇が、各世代の凄腕を集めた最強サックス四重奏団”ブルーオーロラ　サクソフォン・カルテット”。クラシックの枠を超え、ジャズや現代音楽、そして即興演奏と可能性を広げ、今までの概念を軽々と打ち破る、刺激的な音楽性で注目を浴びています。今回は、平野が編曲を手掛けたオール・バッハ・プログラムをお届けします。「こんなバッハ聴いたことない」と思わせる衝撃の演奏が展開される一時間！ご期待ください。

プログラム

◎J.S.バッハ/平野公崇編　：平均律クラヴィーア曲集　第1巻 より「プレリュード」/ トッカータとフーガ ニ短調　BWV.565 / 主よ、人の望みの喜びよ / G線上のアリア / ゴルトベルク変奏曲 ト長調 より　他

平野公崇(ソプラノ・サクソフォン)　Masataka Hirano, soprano saxophone

クラシックから現代作品、即興、ジャズまで、幅広いフィールドを縦横無尽に駆け抜ける新しいタイプの実力派サクソフォニスト。東京藝術大学在学中、第7回日本管打楽器コンクールで第1位。卒業後、パリ国立高等音楽院に入学、サクソフォン科、室内楽科、即興演奏科を最優秀の成績で卒業。同音楽院在学中にJ=Mロンデックス国際コンクールを制して日本人サクソフォニスト初の国際コンクール優勝者となり、フランス国立ボルドー・アキテーヌ管の定期演奏会に出演、Sud-Ouest紙の絶賛を浴び華やかなフランス・デビューを果たす。日本では2000年、現代作品と即興のみで構成された異色のアルバム「ミレニアム」で鮮烈なデビューを果たす。読響、新日フィル、大フィル、札響、広響等オーケストラとの共演多数。また、山下洋輔、塩谷哲、アキコ・グレースらジャズメンとの共演も多い。フランス、ドイツ、スペイン等の音楽祭におけるコンサートは毎回好評を博しその出演を待望する多くのファンを獲得している。日本テレビ「深夜の音楽会」、テレビ朝日「題名の無い音楽会」、ＮＨＫクラシック倶楽部、名曲アルバム、大和証券ＣＭ、ＤＶＤ「英詩紀行」等への出演や楽曲提供等多数。特に、日本テレビ「深夜の

田中拓也（アルト・サクソフォン）　Takuya Tanaka, alto saxophone

15才よりサクソフォンを始める。 第８回ジュニアサクソフォンコンクール第１位。第25回日本管打楽器コンクール第１位並びに特別大賞、文部科学大臣賞、東京都知事賞を受賞。 優秀学生顕彰事業大賞受賞。東京藝術大学在学中アカンサス賞受賞。 ソリストとして、梅田俊明指揮日本フィルハーモニー交響楽団、ジョルト・ナジ指揮芸大フィルハーモニーと共演。 題名のない音楽会等、テレビや雑誌に出演。 全国各地でソロやサクソフォンカルテットでのコンサートを行う。2011年、紀尾井ニュー･アーティスト･シリーズに出演。サクソフォンを佐々木雄二、原ひとみ、平野公崇、冨岡和男、原博巳の各氏に、室内楽を中村均一、林田祐和の各氏に師事。都立芸術高校、東京藝術大学を経て、現在東京芸術大学修士課程1年在学中。

西本 淳(テナー・サクソフォン)　Jun Nishimoto, tenor saxophone

1998年大阪音楽大学音楽学部器楽学科を首席で卒業。2000年同大学院音楽研究科管弦打研究室修士課程修了。'02年丹波の森国際音楽祭「シューベルティアーデたんば2002」では音楽祭のシンボルアーティストとして参加。'03年ノナカ・サクソフォン・コンクールにて、クラシック部門第１位を受賞。'04年第８回松方ホール音楽賞・選考委員奨励賞を受賞。'07年、兵庫県下での活動が評価され、平成18年度坂井時忠音楽賞を受賞。'08年ジャン＝マリ・ロンデックス国際サクソフォンコンクールセミファイナリスト。現在は各地でソリストとして活動するほか、在阪オーケストラの客演奏者、コンクール審査等幅広く活動し、大阪音楽大学、相愛大学、武庫川女子大学、相愛高等学校講師として後進の指導にも力を注いでいる。渡仏時にはフィリップ・ブラキャール、ヴァンソン・ダヴィッド、クリスチャン・ヴィルトゥ各氏の下で研鑽を積む。サクソフォンを米倉孝、赤松二郎、平野公崇の各氏に師事。

大石将紀(バリトン・サクソフォン)　Masanori Oishi, bariton saxophone

1999年東京藝術大学卒業。同年、同大学大学院修士課程に入学し、2001年に修了。'01年に渡仏しパリ国立高等音楽院に入学。'02年から2年間文化庁派遣芸術家海外研修員として研鑽を積む。在学中はフランス国内のコンクールで入賞(U.F.A.M国際コンクールソロ部門名誉首席一等賞ほか)。'04年アムステルダム音楽院に短期留学。'05年にパリ国立高等音楽院サクソフォン科、室内楽科を、'06年には即興演奏科を全て最優秀の成績で卒業。さらに'05年よりパリ国立高等音楽院第3課程室内楽科(サクソフォン四重奏)に進み'07年に修了。これまでに安田生命クオリティオブライフ文化財団、メイヤー財団などから助成を受ける。'07年トーキョーワンダーサイト、'08年には東京オペラシティ文化財団主催「B→C」に出演、また'10年にはNHK BSクラシック倶楽部において「ガーデン・オブ・ラブ 大石将紀スタジオコンサート」として特集されるなど幅広く活動している。東邦音楽大学、大学院非常勤講師。